

2022年7月14日

## ミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

ミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校  
校長 浅賀寿美

学校法人ミスパリ学園 ミス・パリ ビューティ専門学校 大宮校 学校関係者評価委員会は、2021年度（令和3年度）自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しましたので、以下のとおり報告致します。

1. 開催日時：2022年6月28日（火） 13：00 ～ 15：00
2. 場 所：ミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校（オンライン）
3. 参加者

### 学校関係者評価委員

|        |  |
|--------|--|
| 進藤 大   | (株式会社 sline 取締役)<br>(日本美容業生活衛生同業組合連合会 渋谷区副支部長) |
| 宮腰 大司  | (有限会社HAIR GUEST 代表取締役)                         |
| 平山 浩篤  | (株式会社シェイプアップハウス 取締役)<br>(学校法人ミスパリ学園評議員)        |
| 杉原 昭二  | (学校法人ミスパリ学園理事、評議員)                             |
| 須賀谷 映子 | (NPO法人スパ・ウェルネス協会 教育委員長)<br>(学校法人ミスパリ学園評議員)     |
| 越川 治枝  | (株式会社シェイプアップハウス 教育部 部長)                        |

### 事務局

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 浅賀 寿美 | (ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 校長)     |
| 勝野 美佐 | (ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 教育課 主任) |
| 榎本 紋子 | (ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 教育課 主任) |

### 陪 席

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 東 千晶 | (株式会社シェイプアップハウス 人事部 部長) |
|------|-------------------------|

#### 4. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

##### ①学生アンケートにおける改善点

###### 【現状】

本校では、在校生に対し、年に2回（前期・後期）授業アンケートを実施。アンケート分析によって、授業内容や教員指導等について学生の満足度を図り、これを基に課題の掘り起こし及び改善に務めている。

2021年度におけるアンケートの実施方法・分析結果は以下の通り。

〔実施方法〕 全在校生対象。無記名式。10項目3段階評価及び自由記載のコメントを求める。

〔実施時期〕 前期：2021年7月21日、後期：2022年3月5日

〔分析結果〕 年間を通して両学科とも、ほぼすべての項目で90%を超える満足度となった。このことから、本校の教育活動について、学生より一定の理解と満足が得られていると評価する。但し、学生の自由記載コメントには大小様々な要望が寄せられており、一定の満足はあるが、より良い学習環境を希求する気持ちがあると分析できる。

具体的な要望としては、美容学科では、オープンキャンパス対応や実技実習の内容についての意見があり、姉妹校や企業の意見も参考にシラバスの変更も視野に、今後の対策を検討していきたい。トータルビューティ学科では余り要望が挙がってこなかったが、これは要望がないというよりも、無記名でも要望を書けない学生がいる可能性があることを考慮しなければならない。アンケートを実施する目的を学生に正確に伝えるとともに、アンケートの設問内容や取得の時期などを再考し、より有益性の高いアンケートを実施できるようにする。

##### ②自己評価点の理由

###### 【現状】

2021年度自己評価は、新型コロナウイルス流行2年目となり、感染症に付随する諸々の事象への対応に慣れたことで、大きなトラブルもなく学校運営が遂行できたことや学生数が増えたこと、更に上記①にある通り、全校的に高い学生満足度が得られたことを高く評価している。ただし、学生数が増えたことで新たな課題も見つかったことから、今回の委員会において、これらの課題について学校関係者評価委員にご説明し、改善アドバイス等をいただいた。

###### (1) 教職員間コミュニケーションについて

学生数増加に伴い教職員も増えたが、学生対応等で全教職員が揃う機会が少なくなり、学校運営に関する協議の場が減少した。特に専門授業を担当する外部講師や、実習を受け持つ現役スタッフとの意見交換が不足していた。今年度はこれらの講師も含めた会議を学期末に行い、より良い教育活動の実現に向けて、意見交換を行っていく。

###### (2) 学生生活の支援について

本校では、各種委員会を作り学生の能動的な活動を促している。2021年度はスポーツ大会や美容コンテスト、学園祭などの実施において、これらの実行委員が中心となり、学生主体の活動を行うことができた。今後は、日々の学生生活に関する委員会活動にも力を入れ、学生の自立心を促していきたい。

### (3) 学習成果について

新型コロナウイルス感染症の影響で例年より採用人数を減らす企業が多い中、本校の就職希望者は全員就職内定をいただくことができました。このことは、本校のキャリア教育が多くの企業様から高い評価をいただいている証左と考える。但し、コロナ禍を経て企業からの要望も大きく変化していると感じる。企業に求められる人材像の把握に努め、それに対応する人材を育成すべく、教育内容のブラッシュアップを継続して行っていく。

### (4) 学生数確保について

入学率・卒業率は前年より向上したが、トータルビューティ学科においては、進級率が減少した。これは、新型コロナウイルス感染症による行動制限が影響し、入学前の授業見学等をせずに入学を決めた学生が増え、結果として、入学後にミスマッチを感じる学生が多かったことに起因すると考えられる。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響下にあることを考慮し、オンライン授業体験や個別の見学会を設けることで、感染リスクを防ぎながら本校の教育活動や特色について理解を深めてもらえるよう努力する。

## ③重点的に取り組む施策

重点的な目標として、学生満足度の向上を設定する。入学者アンケートの分析により、本校の魅力を「マナー・礼儀・ふるまいの向上」及び「講師」と感じていることが分かった。これらは、教育内容として学生が期待している内容と考えられるため、2022年度の施策として「マナー教育の強化」と「魅力ある教職員の育成」を図ることとした。

2021年度からマナー向上委員会を設置し、身だしなみや所作の美しさ、丁寧な言葉遣い等毎月テーマを決め、学生・教職員共にマナー向上を目指してきた。これにより、今年度は初めてサービスマナー検定3級に受験者全員が合格することができた。マナー向上委員会の取り組みが浸透してきていることの現れと考える。今後とも委員会活動を継続し、マナー向上を目指していきたい。

また、魅力ある講師の育成として、授業アンケートの結果を活用し、学生の意見に寄り添った教育活動を実施する。これにより学生満足度を上げ、卒業率の向上及び入学者数増加につなげたい。

## 委員より

- ・授業アンケートで学生の要望が少ないという点について、自分の悩みや不安を明確な言葉として表すことが苦手な学生もいるため、学生がコメントしやすいようにアンケートのとり方をもっと工夫してほしい。文章化できない学生のために、面談が必要な場合のサインを決めておくなどすると良い。
- ・お客様のニーズは多様化してきている。求められるサービスについても多岐に渡り、個々の要望を汲み取る力が重要となってきた。サロンワークの授業やインターンシップを活用し、さまざまな場面での対応力や学生の考える力を養う授業を工夫していただきたい。
- ・現場では自分なりの目標や信念を持っているスタッフの方が活躍する。知識や技術力を高めるのみならず、学生に将来の目標や自分の信念を持たせる教育を行っていただきたい。

## 5. 全体総括

2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響下にあったが、学生満足度を下げることなく、入学者数の増加や全希望者の就職内定を獲得したことは、評価委員からも高い評価をいただいた。他方で、コロナ禍により世間の生活環境は大きく変動し、日本経済及び美容業界も重要な転換期を迎えている。さらに、非接触を求められた2年間を過ごした学生の心身に与えた影響は大きく、入学者の質も変化してきていると感じる。今後数年はこのような過渡期となるため、先を見据えた新たな学校運営の形を模索していきたい。今回、評価委員会の方々から頂戴した意見を真摯に受け止め、今まで以上に魅力的な授業を行い、入学してきた学生を社会で活躍できる人材に育てるという使命感を教職員全員が持ち、美のプロフェッショナル育成により一層努力していきたい。

以上